



平成27年 7月14日

	観光振興課
担当者	飯塚、園田
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

「長崎県観光動向調査」について

本県の平成27年1～3月期における観光動向について、別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

本県では、観光客数の動向（トレンド）を適宜把握する目的で、年1回公表の「長崎県観光統計」とは別に、観光動向に関する調査を実施し、3ヵ月毎にその結果を「長崎県観光動向調査」としてお知らせしております。

調査概要の詳細は別添資料をご参照願います。



長 崎 県 観 光 動 向 調 査 (平成27年1～3月分)

● 主要指標

平成27年1～3月

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	H27-H26 同期比	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	161	1,155千人	+3.3%	+37千人
主要観光施設	27	2,015千人	▲ 2.3%	▲47千人

● 概況

○主要宿泊施設の宿泊客数は、ハウステンボスの「光の王国」の集客が引き続き好調であること、長崎市におけるランタンフェスティバルの開催や夜景などの夜型観光が好調を維持していること、韓国人などの外国人観光客が増加していることなどから、1～3月期全体で対前年同期比+3.3%となった。

○主要観光施設の利用者数は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である軍艦島の上陸者数や長崎市内のロープウェイが好調であったものの、九十九島動植物園において平成26年1月にオープンした新ペンギン館でリニューアル効果の反動減がみられたこと、ハウステンボスの集客が昨年の増加よりやや緩やかになったことなどから、1～3月期全体で対前年同期比▲2.3%とやや減少に転じた。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定されて以降、夜景観光が好調を維持していること、ランタンフェスティバルの集客が過去2番目の集客を記録したこと、造船関連のビジネス客の増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+4.1%となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

「光の王国」などのイベントの開催により大幅な集客増となったハウステンボスやその周辺、市街地エリアの一部宿泊施設において台湾からの外国人宿泊客が増加したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+3.6%となった。

【平戸・松浦ブロック】

全体的にバスツアーなどの団体客が減少したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比▲4.5%となった。

【諫早・大村ブロック】

電子部品関連のビジネス客の増加がみられたこと、ランタンフェスティバルの波及効果による増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+15.0%となった。

【島原半島ブロック】

一部宿泊施設でバスツアーなどの団体客が減少したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比▲2.4%となった。

【五島ブロック】

五島市では一部の宿泊施設において平成26年の国体リハーサル大会による団体客の反動減がみられたものの、新上五島町において世界遺産候補への注目が高まったことなどから宿泊客の増加がみられ、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比2.2%となった。

【杵岐ブロック】

昨年開催されたスポーツ大会などによる反動がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比▲8.3%となった。

【対馬ブロック】

対馬―釜山間航路において、一部の便が一時運休していたことなどから韓国人宿泊者数が減少したものの、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.3%とわずかに増加した。

【参考】外国人観光客の動向（ご協力いただいた施設のみのサンプル調査）

ハウステンボスを訪れる外国人観光客が増加していることや、長崎-仁川間を結ぶ韓国のジンエアーがデイリー運行としていたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+26.8%となった。

